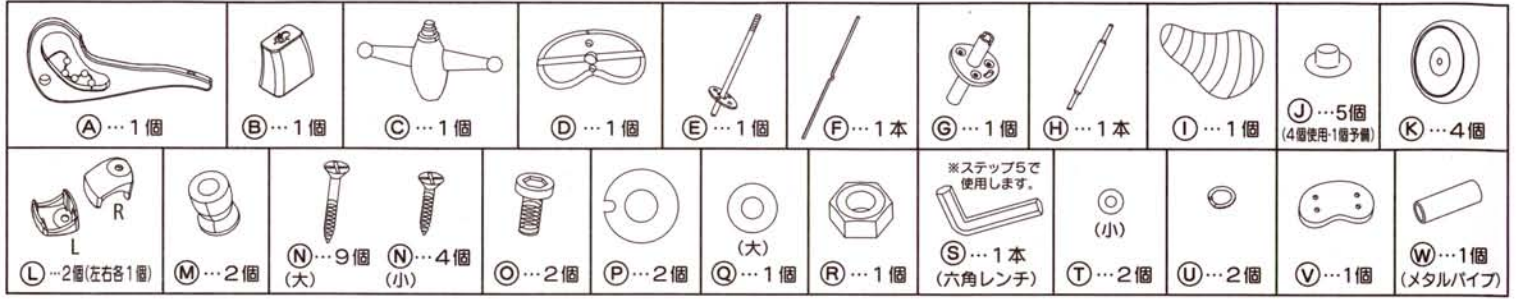


用意するもの



●組み立ては必ず大人の方が行ってください。

入っているもの

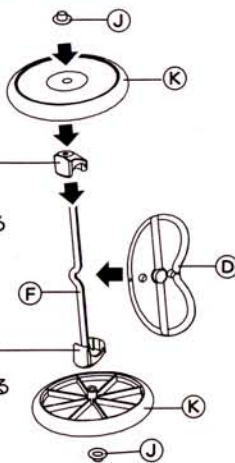


組み立てかた

ステップ1

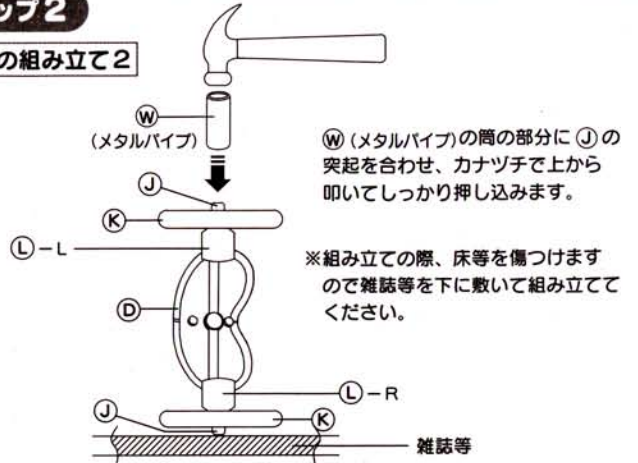
前輪の組み立て1

- ①-L (左)
- ①-Dのみそに①-Fを合わせ、①-Lパーツの内側に“L”(左)と刻印してあることを確認の上、組み立ててください。
- ①-L-R (右)
- ①-Lパーツの内側に“R”(右)と刻印してあることを確認の上、組み立ててください。



ステップ2

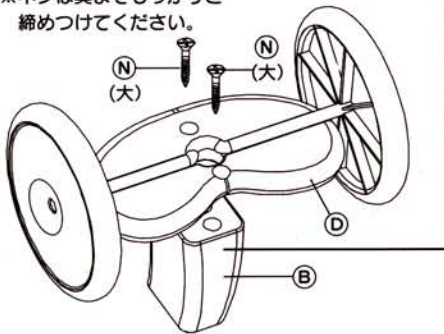
前輪の組み立て2



ステップ3

前輪と足置きを組み立て1

※ネジは奥までしっかりと締めつけてください。



ステップ2で組み立てた部分と、①-Bを①-N (大)で留めます。

向きに注意!

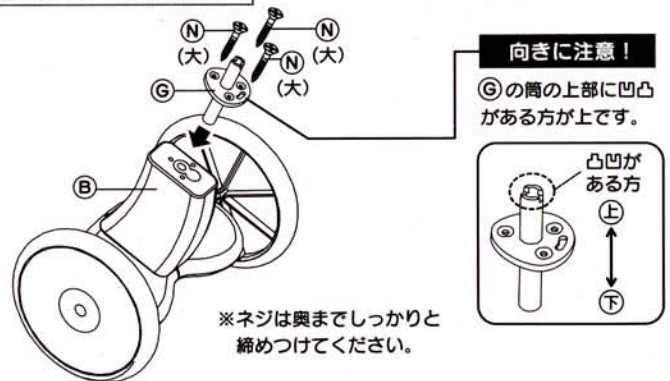
下記のイラストの形状を確認の上、組み立ててください。

①-Bと①-Dの組み立て方向



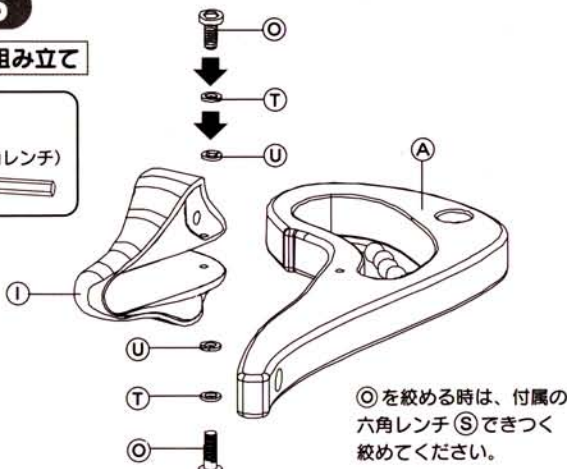
ステップ4

前輪と足置きの組み立て2



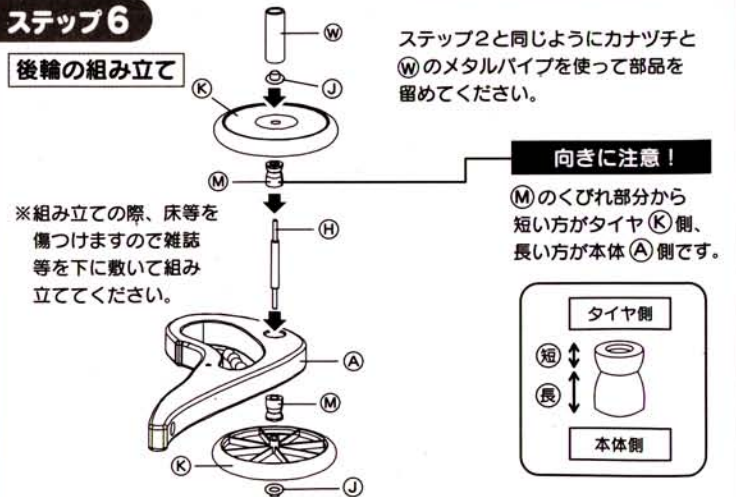
ステップ5

シートを組み立て



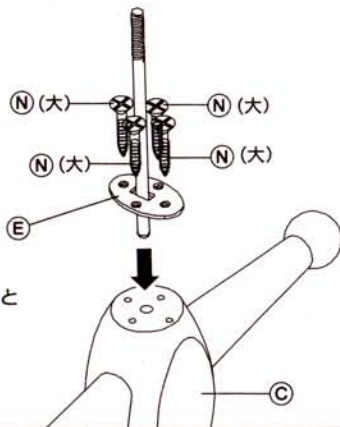
ステップ6

後輪の組み立て



ステップ7

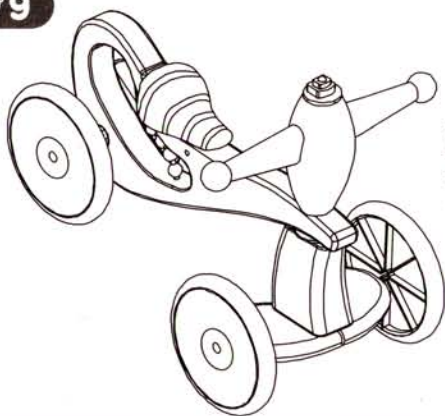
ハンドルの組み立て



※ネジは奥までしっかりと締めつけてください。

ステップ9

完成

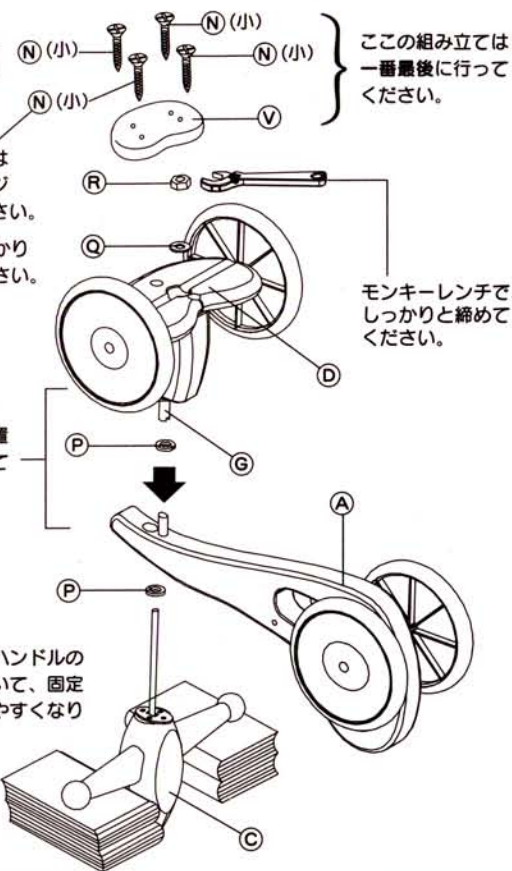


ご使用になる前にネジ等のゆるみをもう一度確認してください。

ステップ8

全体の組み立て

ここで使用するの
は小さいサイズのネジ
です。ご注意ください。
※ネジは奥までしっかりと
締めつけてください。



この組み立ては一番最後に行ってください。

モンキーレンチで、しっかりと締めつけてください。

お互いの凹凸の位置を合わせ、組み立ててください。

組み立ての際に、ハンドルの両側に雑誌等を置いて、固定すると、作業がしやすくなります。

⚠ 注意 (ちゅうい)

保護者の方へ、必ずお読みください。



- 必ず保護者の目の届くところで遊ばせてください。
- 思わぬ事故の危険がありますので、必ずお子様の目の届かない場所で、保護者の方が組み立ててから遊ばせてください。
- 安全のため、破損、変形したおもちゃは使用させないでください。●思わぬ事故の危険がありますので、対象月齢未満のお子様には、絶対に与えないでください。
- 火事等の思わぬ事故や、変形、故障の原因になりますので、暖房器具、調理器具等の高温になるものや火気のそばには置かないでください。
- お子様を座面の上に立たせたりしないでください。転倒により、ケガの恐れがあります。
- 製品本体には、よりかかったり、二人乗り、つかまり立ち等をさせないでください。破損や転倒によるケガの恐れがあります。
- 床面が平らでないところや段差のあるところ、傾斜のあるところ、ベランダ、階段や縁側等危険な場所では遊ばせないでください。
- 体重30kg以上の方は使用しないでください。●踏み台等、乗用以外の目的では使用しないでください。●お子様を乗せたまま、持ち上げて運ばないでください。
- お子様の足が床面に確実につくことを確認してから遊ばせてください。●戸外での使用はさせないでください。屋内専用です。
- ぶつかけたり、ふりまわす等乱暴な遊びをさせないでください。思わぬ事故の危険があります。
- 体重をハンドルにかけ過ぎると、前倒る場合がありますので、遊ぶ場所を選ぶとともに、なれるまで見守ってあげてください。
- 高温、多湿、ほこりの多い場所での使用、保管はさけてください。
- 車輪の周囲や回転部、小さな隙間等には、手や指や足を入れさせないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。
- 故障の原因になりますので、落としたり、衝撃を与えないでください。
- 摩擦抵抗の少ないフローリングの床やタタミの上では、タイヤがすべりやすくなる場合があります。十分にお気をつけてください。
- 車輪を横すべりさせないでください。床面が傷つく恐れがあります。●本体をとめている梱包材は開封後にただちに破棄してください。ケガ等の危険があります。

〈使用上の注意〉

- 組み立て後、ご使用になる前に、ネジ等のゆるみ等をもう一度確認してください。
- 本製品は天然木を使用しているため、色にムラのある場合がありますが、ご了承ください。
- 本製品は天然木を使用しているため、時間の経過とともに、色が変化することがありますが、ご了承ください。
- 戸外に放置し、雨ざらしにしないでください。
- 屋内のご使用に際し、タタミや床、壁を傷つける場合がありますので、遊ばせる場所を選んでください。
- 製品本体を水やお湯の中に入れて、水洗いはしないでください。破損、変形だけでなく、カビ等の原因となります。製品本体が汚れた場合は、水でぬらしたタオルを固く絞って拭いたあと、よく乾かしてからご使用ください。また、煮沸消毒、熱湯消毒、レンジ消毒、薬液消毒等は故障、変形の原因になりますので、おやめください。
- はじめてご使用になる際には、木の粉等が付着している場合がありますので、かるく拭いてからご使用ください。
- 対象月齢はあくまでも目安です。
- パッケージの写真と製品とは、多少異なりますので、ご了承ください。
- 製品の仕様は予告なしに変更することがあります。
- 製品についてお気づきの点がございましたらコンシューマーズ(Customer Service Center)までご連絡ください。